

八田原ダム流域では、令和3年8月12日の未明から雨が降り始め、13日の夕方から夜の始めごろにかけて前線の影響により強い雨が降り、降り始めから15日までの流域平均総雨量は381mmを記録しました。

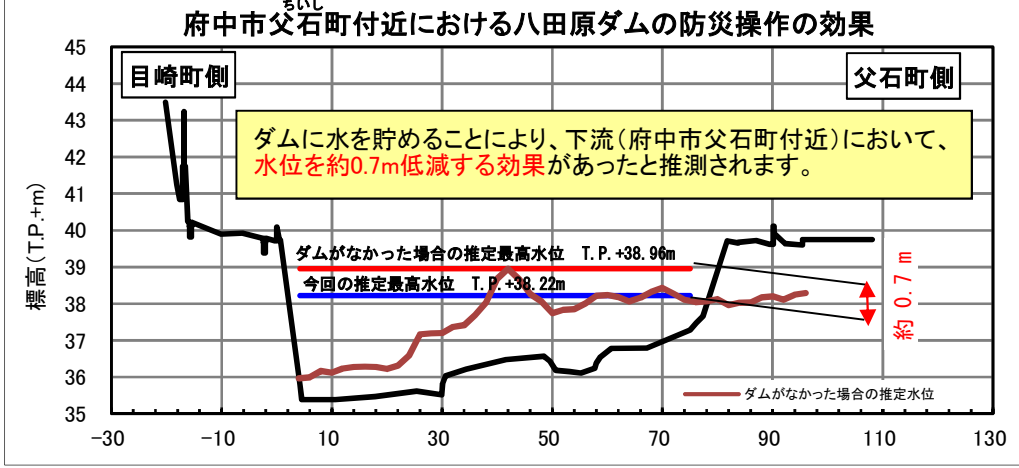
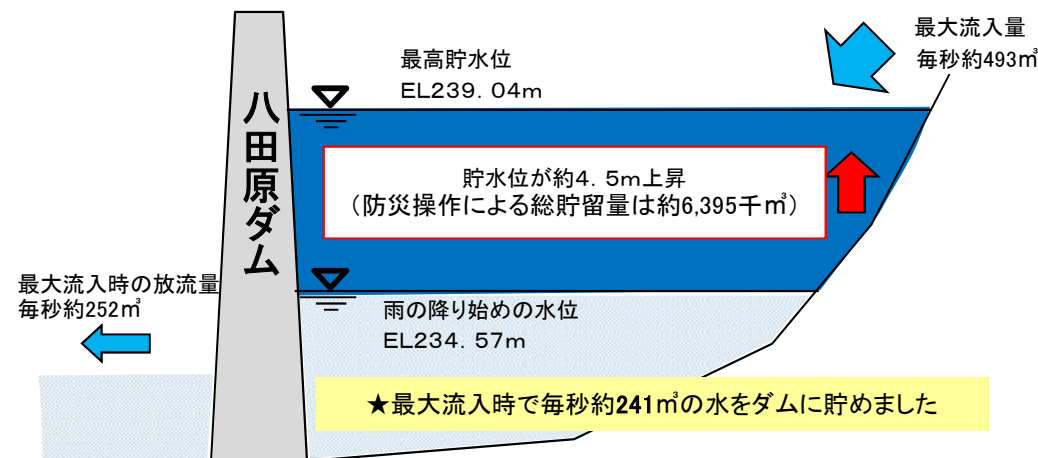
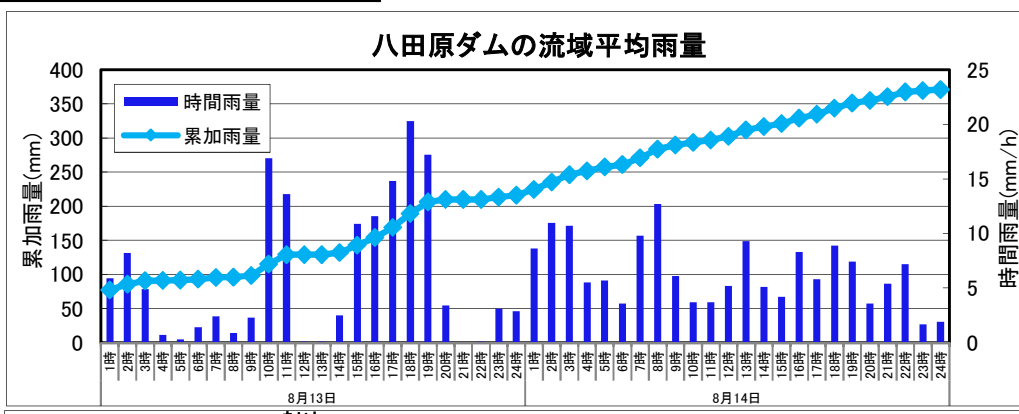
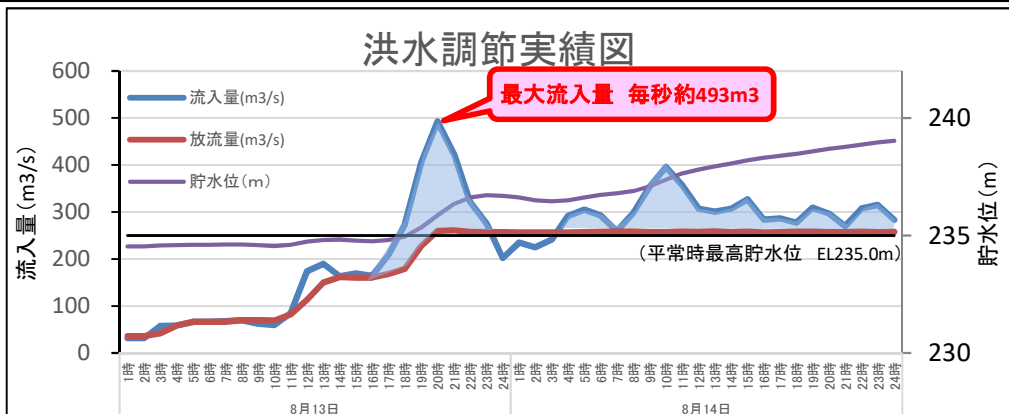
八田原ダムでは、ダムへ入ってきた水の量が最大で毎秒約493m<sup>3</sup>に達しました。

これを受けて、八田原ダムにおいては防災操作<sup>※2</sup>をおこない、このうち、最大流入時で毎秒約241m<sup>3</sup>の水をダムに貯め込みました。

この結果、府中市父石町付近で水位を約0.7m低減する効果があったと推測されます。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、放流量を流入量より小さくしてダム下流の河川に流す操作です。

八田原ダム位置図



※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。